

— 目 次 —

<特集>

「観光くまもと」を育てるもの

— 観光くまもとの課題 —

- ♣ 第1章— 私たちと観光 ..... 8
- ♣ 第2章— これからの観光 ..... 14
  - 東京通信 —
  - ♣ 熊本県経済観光センターの窓口から ..... 26
    - 大阪通信 —
  - ♣ 熊本県大阪事務所窓口から ..... 27
  - ♣ 国際観光年とは ..... 32
  - ♣ 五木・五家荘一帯が県立公園に ..... 33

□ 観光随想

花の下・沖津 正己 ..... 26

「観光くまもと」への提言  
・上野 義広 ..... 30

□ 旅 情

帯谷瑛之介・劉 寒吉・福原 健司  
伊藤 まち・檀 一雄

ルポ

- ★ 観光休養都市へハッスル (人吉市) ..... 10
- ★ 観光地美化への動き (阿蘇山上) ..... 13
- ★ 広域化する城北観光 (県北観光協議会) ..... 16

<ここに人あり>

山に注ぐ愛情 (幸 仁哉さん) ..... 25

■ ずいそう ..... 新川智恵子・大重 春二 ..... 6

熊本の明治百年 (その1)

維新のバスに乗りおくれ ..... 35  
・歴史ごよみ ..... 36

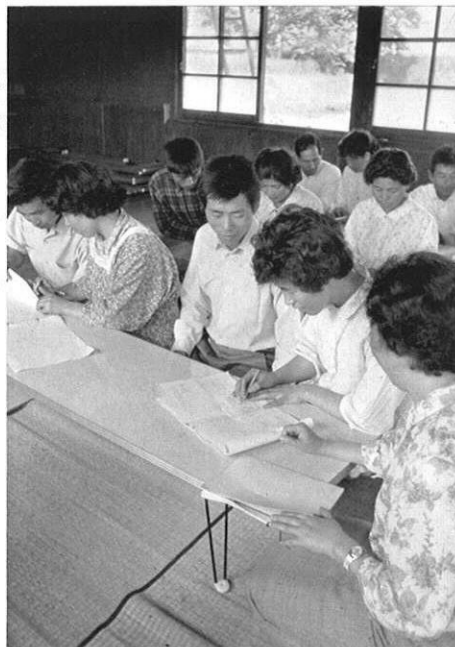
★ グラビアページ ★

指導員がいる風景・新産業風土記ほか

<センターカラー> 城下町シリーズ— 熊本市 —

<表紙> 阿蘇湯の谷風景

右・生活教室で学ぶグループ員……夫婦そろってなかよく聴講する風景もよく見られる。



上・寝具の改良や、作業衣の工夫などMさんの指導で熱心に研究するグループ員。今日は寝具の手入れの講習。



上・「あの窓とりがどうも効果的ではないんですが……」家庭管理の指導では、住いの工夫も大きなウエートを占めてきた。

かよい合う心

— 鹿本郡植木町の生活改善グループ —

鹿本郡植木町の生活改善グループでは、先ごろ文集「窓」を発行した。つまりグループ員である農家の主婦たちの生活記録である。この文集はグループの連帯感をいっそう強めるのに役立つ。この地区の担当である生活改良普及員Mさんもひと役買って、原稿集めや、印刷の世話などで奔走した。そして又、次号発行の相談も持ち上っている。農作業のひととき、よく話題に上るのもこの文集のことである。

もう一つの話、それは農閑期を利用して開かれているグループ学級である。若妻あり、おしどり夫婦あり、姑さんあり、学級活動を通して家庭円満が保たれているのは何よりの自慢としている。Mさんの指導もよろしく、今ではグループの恒例行事になってしまった。

生活改良普及員の仕事は農村生活全般の指導だから、作業衣、栄養食の管理から家計簿のつけ方の指導までかなりの範囲に広がる。いわば新農村生活のコンサルタントというわけである。だがグループ活動の実績は、グループ員と生活改良普及員との心の交流こそ大切。Mさんはこの地区を担当して七年になるが、夫婦げんかの仲裁やら、結婚話の取り持ちなど思いがけぬ難題にぶつかかることもしばしばである。こうした個人的にも心を許した相談を受けるとき、Mさんは指導員としての幸せを深くかみしめるのである。